

令和7年度 施策評価シート

基本目標	IV 安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政 策	420 地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるしくみをつくる
施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する
施策の目標	多くの区民が地域福祉について理解し、地域福祉の理念や活動が区民に知られ、さまざまなプラットフォームにより地域の福祉課題の解決が図られ、地域で暮らす住民同士の支えあい、助け合い活動が積極的に行われています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目 標	15%	—	—	—	20.2%
実績	14.2%	—	—	—	10%
	R3	R4	R5	R6	R7
目 標	—	—	—	—	25%
実績	—	—	—	—	

指標名	小地域福祉活動・ふれあいサロン等実践地区数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目 標	55地区	56地区	57地区	58地区	59地区
実績	56地区	56地区	57地区	55地区	54地区
	R3	R4	R5	R6	R7
目 標	60地区	61地区	62地区	63地区	64地区
実績	52地区	52地区	49地区	45地区	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
支えあい・助けあいの推進、地域に存在する多様な主体の連携・協働による地域づくりを進めるため、多くの地域住民が参加しやすいしくみづくりや若年層を取り込む工夫が求められている。地域住民同士の自主的な支えあい活動である「小地域福祉活動」や地域の誰もが参加できる気軽な交流の場である「ふれあいサロン」等の拡大に取り組むとともに、地域づくりの核となる人材の育成が必要であることから、幅広い世代が地域福祉の担い手として活躍できるよう支援する。	R4	818,159
	R5	882,202
	R6	1,001,838

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	ふれあいサロンの活動等はコロナの影響で休止したものが再開に至らない地域もあるが、包括的支援体制整備事業における地域福祉プラットフォームの増設、支援会議の実施等によって地域づくりの支援体制の強化を図った。

4 今後の施策の運営方針

	施策の戦略的方向性
●	(1) 優先的に資源投入を図る
○	(2) 現状維持とする
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
地域共生社会の実現には、社会とのつながりが希薄になってきている区民の現状やニーズに合わせ、参加しやすいしくみによる、担い手育成や集える場の提供を図ることが必要である。	
今後の具体的な方針	
民生委員・児童委員や地域福祉活動者への支援を続けるとともに、各福祉分野の結節点となる多機関協働事業や地域福祉プラットフォーム事業を充実させ、包括的支援体制の強化を図っていく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	すみだ福祉保健センター管理運営事業	厚生課	611,507	1,831	613,338	現状維持
2	社会福祉協議会補助金	厚生課	227,601	9,154	236,755	現状維持
3	包括的支援体制整備事業費	厚生課	70,250	27,462	97,712	現状維持
4	すみだボランティアセンター維持管理費	厚生課	23,899	3,707	27,606	現状維持
5	民生・児童委員協議会等経費	厚生課	5,558	11,030	16,588	現状維持
6	地域福祉計画推進事業費	厚生課	424	7,323	7,747	現状維持
7	民生・児童委員施設見学会経費	厚生課	1,177	915	2,092	現状維持

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	すみだ福祉保健センター管理運営事業					
主管課	厚生課				電話番号（内線）	3353
目 的	福祉と保健にわたるサービスを総合的に提供する。					
対 象 者	各事業の基準に該当する区民					
根拠法令 関連計画	すみだ福祉保健センター条例 墨田区障害者生活介護施設の管理運営等に関する条例 墨田区児童デイサービス施設の管理運営等に関する条例					
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2	委託先：墨田区社会福祉事業団
事業内容	1. 障害者生活介護施設（はばたき福祉園）の運営 2. 身体障害者福祉センター（B型）の運営 3. 老人福祉センター（A型）の運営 4. 児童デイサービス施設（みつばち園）、相談支援事業所の運営 5. 健康増進事業の運営 6. 機能訓練事業の運営 7. 高齢者在宅サービスセンターの運営 8. 施設維持管理業務					
経 過	開始年度	平成1年度			終了予定	
	福祉と保健にわたるサービスを総合的に提供するため、平成元年4月に墨田区が設置した複合施設。平成18年度からは、社会福祉法人墨田区社会福祉事業団が指定管理者として施設の維持管理を行っている。 令和3年度に、中長期的な施設経営の視点から、施設のあり方について検討し、事業運営見直しの方向性を定めた。 上述の事業運営の見直しや施設の老朽化に伴い、施設の改修工事を行う予定。					
議会質問 の 状 況	[令和5年度区民福祉]事業見直しに伴う利用者への影響について、みつばち園の相談待ち期間短縮について等 [令和3～4年区民福祉]みつばち園の相談待ち期間短縮について [平成28年決特]利用者の把握、バリアフリー化について [平成27年決特]施設の活用について					
そ の 他 特記事項	福祉サービスを総合的に提供する複合施設であり、各事業を障害者福祉課、高齢者福祉課等が所管している。 令和4年3月23日区民福祉委員会において、新保健施設（すみだ保健子育て総合センター）や利用者ニーズの変化等、本施設を取り巻く環境が将来的に大きく変化することが想定されるため、中長期的な施設経営の視点から事業運営等の見直しを進めていく旨を報告した。 令和5年12月5日区民福祉委員会において、各事業の見直しの進捗状況を報告した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		698,851	475,388	510,931	538,333	657,980	766,141
A. 決算額（令和7年度は見込み）		604,091	454,639	495,004	528,166	611,507	766,141
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,752	2,941	3,076	2,697	3,016	3,076
	その他	405	372	400	519	400	417
一般財源		600,934	451,326	491,528	524,950	608,091	762,648
執行率（％）		86.44％	95.64％	96.88％	98.11％	92.94％	100％
B. 人コスト		882	880	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		604,973	455,519	496,640	529,868	613,338	
予算書P（令和7年度）		p140, p148-5		執行実績報告書P（令和6年度）		p82-1, 2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	399,900	委託料	475,248	委託料	562,525
負担金補助及び交付金	103,832	負担金補助及び交付金	128,568	負担金補助及び交付金	141,692
工事請負費	24,433	工事請負費	7,691	工事請負費	61,924
概 要		概 要		概 要	
[委託料]すみだ福祉保健センター指定管理料		[委託料]すみだ福祉保健センター指定管理料及び施設改修に係る設計業務委託費		[委託料]すみだ福祉保健センター指定管理料及び施設改修に係る設計業務委託費	
[負担金補助及び交付金]墨田区社会福祉事業団運営助成金		[負担金補助及び交付金]墨田区社会福祉事業団運営助成金		[負担金補助及び交付金]墨田区社会福祉事業団運営助成金	
[工事請負費]すみだ福祉保健センター地下1階泡消火設備改修工事		[工事請負費]すみだ福祉保健センター施設改修工事費（空調機更新工事ほか）		[工事請負費]すみだ福祉保健センター施設改修工事費（触媒栓交換工事ほか）	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	福祉保健センター利用者数（各事業合計数）				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		48,000	令和7年度	目標	48,000	48,000	48,000	48,000
				実績	53,483	57,259	55,507	54,733
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
		実績	44,336	48,342	54,499	47,338	47,773	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者数が、福祉に対する理解や地域活動への参加促進の度合いにおいて重要であるため。また、利用者数を維持していくことを目標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	施設利用者満足度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	80	80	80	80
				実績	82.9	81.3	87.2	80.8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	82.5	88.5	78.7	81	未	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		法人の円滑な事業運営は、利用者の満足度と関連するため。これを低下させないよう維持することを目指す。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	機能訓練・相談事業のほか、各種講座を開催し多くの方が利用している。福祉サービスを総合的に提供する複合施設であるため、今後も関係各課と連携して事業を展開していく。

課題・問題点
事業運営見直しの方向性に則り、専門人材及び施設の有効活用並びに福祉保健サービスの更なる向上を図る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団運営費助成金		
主管課	厚生課	電話番号（内線）	3353
根拠法令	社会福祉法人に対する助成に関する条例		
補助概要	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団運営のための人件費、事務費等		
目 的	墨田区の出資のもとに設立された団体である「社会福祉法人墨田区社会福祉事業団」の運営のため。		
対 象	社会福祉法人墨田区社会福祉事業団		
基 準	区独自基準		
補助条件	区が指定した助成対象事業に対し交付		
経 過	開始年度	昭和 6 3 年度	終了予定
	昭和63年10月 社会福祉法人墨田区社会福祉事業団設立		
議会質問の状況	[令和5年区民福祉]事業見直しに伴う利用者への影響について、みつばち園の相談待ち期間短縮について等 [令和3～4年区民福祉]みつばち園の相談待ち期間短縮について [平成28年決特]利用者の把握、バリアフリー化について [平成27年決特]施設の活用について		
その他特記事項	福祉サービスを総合的に提供する複合施設であり、各事業を障害者福祉課、高齢者福祉課等が所管している。 令和4年3月23日区民福祉委員会において、新保健施設（すみだ保健子育て総合センター）の開設や利用者ニーズの変化等、本施設を取り巻く環境が将来的に大きく変化することが想定されるため、中長期的な施設経営の視点から事業運営等の見直しを進めていく旨を報告した。 令和5年12月5日区民福祉委員会において、各事業の見直しの進捗状況を報告した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		118,397	122,343	114,582	123,893	156,342	141,692
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		96,974	102,369	97,822	103,832	128,568	141,692
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		96,974	102,369	97,822	103,832	128,568	141,692
執行率（％）		81.91％	83.67％	85.37％	83.81％	82.24％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	墨田区社会福祉事業団事務局本部の常勤職員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	5	5	5	5	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		法人を円滑に運営していくための職員数						
		現状で利用者の満足度も維持されているため、目標値とした。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	施設利用者満足度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和 7 年度	目標	80	80	80	80
				実績	82.9	81.3	87.2	80.8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	82.5	88.5	78.7	81	未	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		法人の円滑な事業運営は、利用者の満足度と関連するため、これを低下させないよう維持することを目標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区が設立した社会福祉法人であるため、今後も円滑な運営と事業展開のための支援をしていく。

課題・問題点
事業運営見直しの方向性に則り、専門人材及び施設の有効活用並びに福祉保健サービスの更なる向上を図る必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	社会福祉協議会補助金					
主管課	厚生課				電話番号（内線）	3352
目 的	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行うことにより、墨田区内における社会福祉の増進に寄与する。					
対 象 者	社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会					
根拠法令 関連計画	社会福祉法人に対する助成に関する条例					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1	
事業内容	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。 （社会福祉協議会の事業内容） 【児童福祉事業、老人福祉事業、障害者福祉事業、車イス貸出事業、緊急援護事業等各種事業】 ・生活福祉資金貸付事業、応急小口資金貸付事業 ・すみだボランティアセンター、同分館のボランティア活動推進事業 ・すみだハート・ライン21事業 ・すみだ福祉サービス権利擁護センターの運営、各種事業 ・小地域福祉活動推進事業（小地域福祉委員会、ふれあいサロン、拠点型ふれあいサロン、おもちゃサロン） ・災害ボランティア活動体制の整備					
経 過	開始年度	昭和35年度			終了予定	
	昭和35年 墨田区社会福祉協議会発足 昭和37年 社会福祉法人の認可					
議会質問 の 状 況	[平成25年決特]社協の生活支援員について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		238,752	220,335	220,881	214,809	231,040	262,026
A. 決算額（令和7年度は見込み）		215,235	197,923	203,800	212,271	227,601	262,026
財 源	国	15,236	5,000	5,000	1,000	1,000	1,000
	都	37,119	25,735	36,494	49,045	55,021	54,743
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		162,880	167,188	162,306	162,226	171,580	206,283
執行率（％）		90.15％	89.83％	92.27％	98.82％	98.51％	100％
B. 人コスト		8,822	8,796	8,179	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		224,057	206,719	211,979	220,783	236,755	
予算書P（令和7年度）		P. 135-14(1)		執行実績報告書P（令和6年度）		P. 77-13(1)	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	212,271	負担金補助及び交付金	227,601	負担金補助及び交付金	262,026
概 要		概 要		概 要	
墨田区社会福祉協議会に対する事業費補助		墨田区社会福祉協議会に対する事業費補助		墨田区社会福祉協議会に対する事業費補助	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	すみだハート・ライン２１の活動件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		5,000	令和７年度	目標	4,550	4,600	4,650	4,700
				実績	4,889	5,233	4,549	3,995
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
		実績	2,931	3,163	3,474	3,428	3,129	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう住民の協力により家事援助等を提供する事業であり、その活動状況が分かる指標であるため。目標値は実績から算出している。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	ふれあいサロン及び小地域福祉活動実践地区等の合計数				単位	地区
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		64	令和７年度	目標	55	56	57	58
				実績	56	56	55	55
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	59	60	61	62	63	64
		実績	54	52	52	49	45	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		近隣住民が気軽につながりをつくるための取組や、自主的に行う支えあい活動の拡大状況が分かる指標であるため。目標値はこれまでの実績から算出している。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	引き続き補助を行い、墨田区内における社会福祉の増進に寄与していく。

課題・問題点
地域福祉サービスの更なる向上を図る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	社会福祉協議会補助金		
主管課	厚生課	電話番号（内線）	3352
根拠法令	社会福祉法人に対する助成に関する条例		
補助概要	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。		
目的	社会福祉協議会に事業費の補助を行うことにより、区内における社会福祉の増進に寄与する。		
対象	社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会		
基準	区独自基準		
補助条件	地域福祉を推進するための各種事業を実施している社会福祉協議会に事業費の補助を行う。 （社会福祉協議会の事業内容） 【児童福祉事業、老人福祉事業、障害者福祉事業、車イス貸出事業、緊急援護事業等各種事業】 ・生活福祉資金貸付事業、応急小口資金貸付事業 ・すみだボランティアセンター、同分館のボランティア活動推進事業 ・すみだハート・ライン21事業 ・すみだ福祉サービス権利擁護センターの運営、各種事業 ・小地域福祉活動推進事業（小地域福祉委員会、ふれあいサロン、拠点型ふれあいサロン、おもちゃサロン） ・災害ボランティア活動体制の整備		
経過	開始年度	昭和35年度	終了予定
	昭和35年 墨田区社会福祉協議会発足 昭和37年 社会福祉法人の認可		
議会質問の状況	[平成25年決特]社協の生活支援員について		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		238,752	220,335	220,881	214,809	227,601	262,026
A. 決算額（令和7年度は見込み）		215,235	197,923	203,800	212,271	227,601	262,026
財源	国	15,236	5,000	5,000	1,000	1,000	1,000
	都	37,119	25,735	36,494	49,045	55,021	54,743
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		162,880	167,188	162,306	162,226	171,580	206,283
執行率（％）		90.15％	89.83％	92.27％	98.82％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだハート・ライン２１の活動件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,000	令和７年度	目標	4,550	4,600	4,650	4,700
				実績	4,889	5,233	4,549	3,995
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
		実績	2,931	3,163	3,474	3,428	3,129	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう住民の協力により家事援助等を提供する事業であり、その活動状況が分かる指標であるため。目標値は実績から算出している。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	ふれあいサロン及び小地域福祉活動実践地区等の合計数				単 位	地区
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		64	令和７年度	目標	55	56	57	58
				実績	56	56	55	55
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	59	60	61	62	63	64
		実績	54	52	52	49	45	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		近隣住民が気軽につながりをつくるための取組や、自主的に行う支えあい活動の拡大状況が分かる指標であるため。目標値はこれまでの実績から算出している。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	引き続き補助を行い、墨田区内における社会福祉の増進に寄与していく。

課題・問題点
地域福祉サービスの更なる向上を図る必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	包括的支援体制整備事業費					
主管課	厚生課				電話番号（内線）	3348
目 的	地域共生社会実現のため区民の複合化・複雑化する支援ニーズに対応し、各相談機関と連携した多機関協働事業を実施し、重層的支援を行う。さらに、社会とのつながりが希薄になっている方等の生活課題の解決のために、地域福祉プラットフォームの機能強化等により、社会参加の支援促進、地域づくりなどを支援する。					
対 象 者	複雑化・複合化した生活課題等を抱えた個人及び世帯					
根拠法令 関連計画	社会福祉法、墨田区基本計画、墨田区地域福祉計画					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	6人・墨田区社会福祉協議会	
事業内容	世代・属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を柱として、これらの3つの支援を一層効果的かつ円滑に実施するために、アウトリーチを通じた継続的支援及び多機関協働による支援を新たな機能として強化し、次に掲げる5つの事業を一体的に実施する。 （１）包括的相談支援事業 （２）参加支援事業 （３）地域づくりに向けた支援事業 （４）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 （５）多機関協働事業（支援プランの策定）					
経 過	開始年度	令和3年度			終了予定	
	・令和3年度試行事業実施 令和2年度まで補助事業として、社会福祉協議会が行っていた「地域福祉プラットフォームの運営」を、令和3年度からは「包括的支援体制整備事業（試行）」として、区が社会福祉協議会に委託して実施 ・令和4年度から事業本格実施 ・令和4年度重層的支援会議に、ひきこもり対策部会を設置し、事業検討を実施					
議会質問 の 状 況	【令和2年】ひきこもり対策特別委員会、決算特別委員会、定例会（11月） 【令和3年】ひきこもり対策特別委員会、定例会、予算特別委員会、区民福祉委員会、基本計画調査特別委員会 【令和4～5年】定例会、予算特別委員会、区民福祉委員会、決算特別委員会 【令和6年度】予算特別委員会、決算特別委員会 令和2年度～令和5年度の墨田区議会定例会、ひきこもり対策特別委員会などで、事業スキームや実績などについての質疑応答があった。令和6年度の予算特別委員会、決算特別委員会にて、包括的支援体制整備事業の事業内容・実績や地域福祉プラットフォームの今後の展開について質疑応答があった。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	20,991	25,517	36,100	70,728	51,726
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	20,672	25,193	35,730	70,250	51,726
財 源	国	0	15,504	18,894	17,865	25,250	25,250
	都	0	0	0	8,932	12,625	12,625
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	5,168	6,299	8,933	32,375	13,851
執行率（％）		- ％	98.48 ％	98.73 ％	98.98 ％	99.32 ％	100 ％
B. 人コスト		0	35,184	32,716	34,048	27,462	
総事業費（A+B）		0	55,856	57,909	69,778	97,712	
予算書P（令和7年度）		P137		執行実績報告書P（令和6年度）		P78-24	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	35,375	委託料	61,589	委託料	51,260
需用費	204	負担金補助及び交付金	8,397	需用費	276
報償費	94	需用費	116	報償費	137
旅費	40	役務費	76	旅費	31
役務費	17	報償費	74	役務費	22
概 要		概 要		概 要	
報償金：講師謝礼 委託費：包括的支援体制整備事業実施に関する業務委託		報償金：講師謝礼 委託費：包括的支援体制整備事業実施に関する業務委託 負担金補助及び交付金： 一般負担金（消費税等）		報償金：講師謝礼 委託費：包括的支援体制整備事業実施に関する業務委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	地域福祉プラットフォーム設置件数				単 位	か所
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		7	令和 8 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	3	3	5	5	6
		実績	—	3	3	3	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民が訪れやすいよう区内各エリアに設置することを目標とする。						
		目的に対する指標 (成果指標)	指 標	重層的支援会議開催回数				単 位
	最終目標値		目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
	6		令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標		—	3	6	6	6	6
実績	—		3	6	1	1		
指標の選定理由及び目標値の理由								
重層的支援会議を通して、地域資源の開拓、関係機関との連携を強化し、区民の生活課題の課題を図るため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和6年度の事業を検証し、改善を図りながら区民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応する。

課題・問題点
重層的支援会議の開催回数は最終目標位置を下回っているが、支援会議（コア会議を含む）を令和6年度は15回（支援会議9回、コア会議6回）開催し、複雑化・複合化したケースへの支援検討等を行っている。引き続き、重層的支援会議及び支援会議を開催して、関係機関と情報共有及び連携を行い、包括的な支援体制の強化を図っていく。また、地域福祉プラットフォームについては、令和7年度中に常設1か所増設を予定しており、整備・運営を継続し、目標達成を目指す。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	すみだボランティアセンター維持管理費					
主管課	厚生課			電話番号（内線）	3354	
目 的	すみだボランティアセンターの施設貸出及び維持管理を行うことにより、ボランティアの育成・活動支援を図り福祉のまちづくりを推進する。					
対 象 者	様々な活動をしているボランティア					
根拠法令 関連計画	すみだボランティアセンター条例 すみだボランティアセンター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1	非常勤1
事業内容	すみだボランティアセンターの施設貸出及び維持管理 （施設概要） ボランティア活動を推進、援助するための拠点施設。ボランティア登録や相談を専門の相談員が受け付ける。 （施設内容） 学習室、グループ活動室1～3、講習室、録音室、多目的室					
経 過	開始年度	昭和62年度			終了予定	
	昭和60年 7月 センター開所。区の委託を受けて墨田区社会福祉協議会が事業開始 昭和62年 4月 「ボランティアセンター運営事業」が社協の自主事業となる。（区から補助金交付） 平成 8年 4月 ボランティアセンター緑分館開設 平成18年 4月 指定管理者制度導入 平成18年10月 緑分館が亀沢三丁目10-11に移転、名称を「すみだボランティアセンター分館」へ変更 令和 3年 4月 管理体制を「指定管理」から「区直営」に変更 令和 6年 4月 分館が緑四丁目4-12メゾンパール錦糸町1階に移転					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	平成18年度から指定管理者による施設管理を実施してきたが、令和3年度から区直営管理に変更した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		27,333	28,483	24,808	35,314	24,591	26,597
A. 決算額（令和7年度は見込み）		20,787	27,119	24,550	34,009	23,899	26,597
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	248	0	0	0	0
	その他	113	0	0	0	0	0
一般財源		20,674	26,871	24,550	34,009	23,899	26,597
執行率（％）		76.05％	95.21％	98.96％	96.3％	97.19％	100％
B. 人コスト		882	3,518	3,295	3,545	3,707	
総事業費（A+B）		21,669	30,637	27,845	37,554	27,606	
予算書P（令和7年度）		P. 135-13(1)(2)		執行実績報告書P（令和6年度）		P. 77-12(1)(2)	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	16,142	委託料	8,271	工事請負費	8,812
委託料	7,697	需用費	4,984	需用費	5,765
需用費	4,597	工事請負費	4,275	委託料	5,257
報酬	2,645	報酬	2,788	役務費	2,792
役務費	2,325	役務費	2,401	報酬	2,789
概 要		概 要		概 要	
施設維持管理費（工事費） 〃（機械警備・電気・空調・ＥＶ 消防等の保守点検業務委託費） 〃（光熱水費、消耗品費） 会計年度任用職員報酬 施設維持管理費（清掃、廃棄物処理等）		施設維持管理費（機械警備・電気・空調 ・ＥＶ・消防等の保守点検業務委託費） 〃（光熱水費、消耗品費） 〃（工事費） 会計年度任用職員報酬 施設維持管理費（清掃、廃棄物処理等）		施設維持管理費（工事費） 〃（光熱水費、消耗品費） 〃（機械警備・電気・空調・ＥＶ 消防等の保守点検業務委託費） 〃（清掃、廃棄物処理等） 会計年度任用職員報酬	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	ボランティアセンター貸出施設の利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		22, 500	令和 7 年度	目標	21, 600	21, 700	21, 800	21, 900
				実績	20, 295	21, 903	22, 528	22, 292
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	22, 000	22, 100	22, 200	22, 300	22, 400	22, 500
		実績	10, 311	13, 550	16, 104	22, 083	23, 123	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域共生社会の実現には、地域のボランティア活動とそれを支える施設が不可欠である。 ボランティア活動の一環として、ボランティアセンターを利用する人の数を指標とした。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	手話・点訳・音訳・要約筆記講習会修了者				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1, 000	令和 7 年度	目標	100	100	100	100
				実績	94	84	85	97
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	8	26	71	116	117	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各種講習会の修了者を指標とすることで、地域で活躍できる人材育成の効果がわかる。毎年１００ 人の修了者を目指し、１０年で累計１, ０００人の修了者（活躍できる人材）を目標値とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	手話通訳・点訳・音訳・要約筆記、外国人のための日本語教室等、多様な分野でボラン ティア活動が展開されている。新型コロナウイルスの影響による活動者の減少もあったが、 令和５年度以降は、再び活動が盛んになり、順調に実績を上げている。

課題・問題点
今後、更なる充実を図るため、「ボランティアだより」「SNS」等を活用して、活動や講座の周知を行い、センター利用 者の拡大、活動者の増加に努めるとともに、拠点施設が、安心安全な環境を提供できるよう適切な修繕を行う必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	民生・児童委員協議会等経費					
主管課	厚生課			電話番号（内線）	3 3 5 5	
目 的	民生委員・児童委員の連絡調整及び活動への助成を行うことにより、民生委員・児童委員協議会（以下「協議会」という。）の事務を補助し、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員活動の自主的促進を図る。					
対 象 者	民生委員・児童委員及び主任児童委員					
根拠法令 関連計画	民生委員法、児童福祉法、民生委員・児童委員及び民生委員協議会に関する経費の都負担金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2・非常勤1	
事業内容	民生委員は、昭和23年に成立した民生委員法に基づき設置され、地域住民のもっとも身近な相談相手、専門機関へのパイプ役として様々な活動を行っている。その活動をサポートするために、各種研修周知や啓発物資の作成、協議会への補助等を行う。					
経 過	開始年度	昭和23年度			終了予定	
	民生委員・児童委員及び主任児童委員の任期は3年であり、その都度大規模な入れ替わりがある。					
議会質問 の 状 況	〔平成30年決特〕 民生委員・児童委員の充足率について 〔令和2年決特〕 民生委員・児童委員の成り手について 〔令和6年区民福祉委員会〕 民生委員・児童委員の充足率及び欠員解消に向けた取り組みについて					
そ の 他 特記事項	（年間スケジュール・関連部署等） 年間スケジュール：令和7年度は会長会11回、会長・副会長会1回、全体会8回、地区別協議会2回を開催予定 関連部署：福祉部各課、保健衛生部各課、子ども・子育て支援部各課、防災課、墨田区社会福祉協議会					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		6,014	5,824	6,752	5,829	6,264	8,474
A. 決算額（令和7年度は見込み）		5,448	5,227	6,305	5,228	5,558	8,474
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,666	2,700	2,815	2,534	2,555	3,074
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,782	2,527	3,490	2,694	3,003	5,400
執行率（％）		90.59％	89.75％	93.38％	89.69％	88.73％	100％
B. 人コスト		5,322	6,157	10,633	10,354	11,030	
総事業費（A+B）		10,770	11,384	16,938	15,582	16,588	
予算書P（令和7年度）		P.138-2		執行実績報告書P（令和6年度）		P.80-2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	4,933	負担金補助及び交付金	5,266	負担金補助及び交付金	6,575
役務費	193	役務費	206	需用費	1,271
需用費	102	需用費	86	役務費	344
				使用料及び賃借料	284
概 要		概 要		概 要	
【負担金補助及び交付金】機関紙発行、 東京都民生委員連合会会費等 【役務費】通知等郵送料 【需用費】退職委員記念品、 民生委員名簿・名刺の印刷等		【負担金補助及び交付金】機関紙発行、 東京都民生委員連合会会費等 【役務費】通知等郵送料 【需用費】退職委員記念品代、 民生委員名簿・名刺の印刷代		【負担金補助及び交付金】機関紙発行、 東京都民生委員連合会会費等 【役務費】通知等郵送料 【需用費】退職委員記念品、 民生委員名簿・名刺の印刷等	

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	全体会の開催				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8	令和7年度	目標	8	6	6	9
				実績	8	6	6	8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	9	6	6	8
		実績	5	6	9	5	6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		全体会は、区内の全ての民生児童委員が出席し、関係行政機関との連携を図り、委員活動に必要な情報提供が行われるため。3年毎の一斉改選年は、開催回数が増える。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	全体会への民生委員・児童委員出席率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和7年度	目標	90	90	90	90
				実績	88.8	87.5	89	86
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	88	86	80	78.6	77.5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		全体会の出席率を高めることが、委員同士の相互連携を深め、個人の資質向上、知識・技術の習得に資するため。（実績から目標値を算出）						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動をサポートするうえで、協議会の運営支援は、今後も必要不可欠な事業である。

課題・問題点
民生委員・児童委員の引き受け手がない地区が一定数あるため、委員活動の周知を強化するとともに、区と町会・自治会が連携し、協力して引き受け手を探すなどして、欠員地区の減少に努めていく必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 5

補助金名	墨田区民生委員・児童委員協議会に対する補助金		
主管課	厚生課	電話番号（内線）	3 3 5 5
根拠法令	墨田区民生委員協議会補助金交付要綱		
補助概要	墨田区民生委員・児童委員の拠り所となっている協議会の円滑な運営を図り、委員個々の活動をサポートするとともに、委員間の連携を育む。		
目 的	墨田区民生委員・児童委員の拠り所となっている協議会の円滑な運営を図り、委員個々の活動をサポートするとともに、委員間の連携を育む。		
対 象	墨田区民生委員・児童委員協議会		
基 準	区独自基準		
補助条件	補助金は、次の各号に掲げる経費に充てるものとする。 (1) 東京都民生児童委員連合会、全国民生委員互助共励事業会及び全国民生委員児童委員連合会への納付金 (2) 協議会が民生・児童委員の指導育成のために行う研修会の経費 (3) 協議会の機関紙発行に必要な経費 (4) その他区長が必要と認めるもの		
経 過	開始年度	昭和 4 6 年度	終了予定
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		5,485	5,500	5,507	5,500	5,926	6,575
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		5,031	4,995	5,227	4,933	5,266	6,575
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,666	2,700	2,816	2,534	2,555	3,074
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,365	2,295	2,411	2,399	2,711	3,501
執行率（％）		91.72 %	90.82 %	94.92 %	89.69 %	88.86 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	地区会				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		14	令和 7 年度	目標	14	28	28	14
				実績	14	28	28	14
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	28	28	14	28	28	14
		実績	16	18	14	28	28	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		地区（7地区）ごとに開催され、地区内の情報・意見交換、必要な知識の習得が図れる会議であるため。3年に1度の一斉改選期には、地区会の回数は減るが全体会の回数が増える。						
		指 標	地区会への民生委員・児童委員の出席率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和 7 年度	目標	90	90	90	90
				実績	85	87	86	84
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	86	89	85	83.4	82.2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地区会への出席率が、個人の資質向上、自己啓発、知識・技術の習得に資するため。目標値は、これまでの実績から算出している。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員活動は非常に重要で、協議会運営を円滑に行うことで、委員個々の活動サポートにつながるため、今後も必要な事業である。

課題・問題点
民生委員・児童委員の負担軽減のための支援策の研究が急務である。そして、町会・自治会等との連携により、民生委員・児童委員の成り手不足を早急に解消する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	地域福祉計画推進事業費					
主管課	厚生課				電話番号（内線）	3319
目 的	地域住民等の参加を得て、地域のさまざまな課題を明らかにするとともに、その解決に向けたしくみをつくる「地域福祉計画」を策定し、「地域共生社会の実現」に向けた地域福祉を推進する。					
対 象 者	区民、区、社会福祉法人、その他地域福祉関係機関					
根拠法令 関連計画	社会福祉法 墨田区地域福祉計画推進協議会に関する要綱 墨田区地域福祉計画推進本部設置要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	○第4次墨田区地域福祉計画の進捗管理 第3次計画が平成22年度～令和2年度の計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、次期計画の策定を1年先送りしたため、令和3年度に令和4年度から令和8年度までの5カ年の計画を策定した。 ○墨田区地域福祉計画推進協議会・墨田区地域福祉計画推進本部の開催 計画の策定や推進にあたり、区と関係者が協議するための「墨田区地域福祉計画推進協議会」を開催する。 また、効果的な推進を図るための区内部組織である「墨田区地域福祉計画推進本部」を開催する。 ○すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムの開催 地域福祉の推進とボランティアの日の啓発を兼ねたフォーラムを開催する。					
経 過	開始年度	平成5年度			終了予定	
	○墨田区地域福祉計画の策定 平成5年度 第1次墨田区地域福祉計画を策定 平成12年度 第2次計画の策定 平成17年度 第2次計画の改定 平成22年度 第3次計画の策定 平成27年度 第3次計画の改定 令和2年度 第4次計画策定作業を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期した。 令和3年度 第4次計画（令和4年度～令和8年度）策定 ○すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムの開催 平成23年度に第1回を開催して以来、毎年開催している。（令和2年度は中止）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	地域福祉計画とは、地域住民の支え合い・助け合いの推進、及び地域の多様な主体との連携・協働による地域づくり等の計画であるため、福祉分野の各課に加えて、関連する各課にも協力を仰いで策定している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,489	3,586	509	523	550	4,482
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,070	2,524	306	326	424	4,482
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	125	125	125	125	125	100
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		945	2,399	181	201	299	4,382
執行率（％）		19.49％	70.38％	60.12％	62.33％	77.09％	100％
B. 人コスト		882	3,518	6,543	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		1,952	6,042	6,849	7,136	7,747	
予算書P（令和7年度）		P. 134-4		執行実績報告書P（令和6年度）		P. 76-3	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	234	報酬	234	委託料	3,960
負担金補助及び交付金	77	負担金補助及び交付金	176	報酬	304
役務費	16	役務費	14	負担金補助及び交付金	200
				役務費	18
概 要		概 要		概 要	
【報酬】地域福祉計画推進協議会委員報酬 【負担金補助金及び交付金】ボランティアフォーラム補助金 【役務費】郵送料		【報酬】地域福祉計画推進協議会委員報酬 【負担金補助金及び交付金】ボランティアフォーラム補助金 【役務費】郵送料		【委託料】次期計画改定に係るアンケート実施委託料 【報酬】地域福祉計画推進協議会委員報酬 【負担金補助金及び交付金】ボランティアフォーラム補助金【役務費】郵送料	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	地域福祉計画推進協議会の開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	3	2	2	2	2
		実績	2	3	2	2	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		協議会は年度2回（計画改定年度は3回）開催。協議会開催により他機関と連携を図り地域福祉計画掲載事業の進捗状況が確認できるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	事業評価がAの割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		100	令和7年度	目標	100	100	100	100
				実績	99	93	93	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	90	93	97	98		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域福祉計画では各事業をA(計画どおりに進んでいる)B(遅れが生じている)その他(見直し等が必要)で評価。各事業の進捗が地域福祉計画が推進されているかの指標の一部となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉計画は、墨田区基本計画の保健・福祉分野の計画である。今後も計画に掲げた取組を計画的に推進していく。

課題・問題点
計画の改定及び進捗管理を行ううえで、協議会等を適切に開催し、個別計画との総合調整や情報共有を図る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 6

補助金名	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員会補助金		
主管課	厚生課	電話番号（内線）	3319
根拠法令	地方自治法第 2 3 2 条の 2		
補助概要	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムを実施するために組織する実行委員会に対し必要経費を補助する。		
目 的	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムの円滑な実施		
対 象	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員会		
基 準	区独自基準		
補助条件	事業実施企画書、事業報告書、決算報告書及び補助金に係る事業の予算・決算の証拠書類の提出		
経 過	開始年度	平成 2 3 年度	終了予定
	平成 2 3 年度に第 1 回すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムを開催し、その後毎年年 1 回開催している。		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		0	250	64	78	250	200
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		0	63	64	76	176	200
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	31	32	38	87	100
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	32	32	38	89	100
執行率（％）		－ ％	25. 2 ％	100 ％	97. 44 ％	70. 4 ％	100 ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム補助金交付額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		200	令和 7 年度	目標	250	250	250	250
				実績	206	235	215	247
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	0	250	250	250	250	200
		実績	0	63	64	76	176	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員会の運営を補助することで事業の円滑な実施に寄与するため、補助金交付額を指標とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		200	令和 7 年度	目標	200	200	200	200
				実績	200	160	160	200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	0	100	100	150	150	200
		実績	0	100	102	136	104	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域福祉やボランティア活動への関心の向上や参加の促進を図ることを目的としているため、参加者数を指標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域福祉の推進、ボランティア活動の向上・促進を図るとともに、参加者の交流に資する事業であることから、引き続き本実行委員会への補助を実施する。

課題・問題点
若い世代の参加を促進し、参加者同士のより活発な交流を図るため、実行委員会において魅力的な講演やグループディスカッション等の内容を検討していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	421 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に対する理解を深め、地域活動への参加と地域づくりを支援する					
事 業 名	民生・児童委員施設見学会経費					
主管課	厚生課			電話番号（内線）	3 3 5 5	
目 的	民生委員・児童委員の資質向上を図るため、先進的な取組をしている福祉施設等の見学を行う。					
対 象 者	民生委員・児童委員及び主任児童委員					
根拠法令 関連計画	民生委員法第2条、墨田区民生委員・児童委員全体協議会要綱第3条、民生委員・児童委員及び民生委員協議会に関する経費の都負担金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	民生委員・児童委員の資質向上を目的とし、先進的な取組をしている福祉施設等の見学を行う。令和元年度までは、3年に1度の一斉改選期に宿泊を伴う研修を行っていたが、参加率を高めるため、日帰りでの研修を行うこととした。					
経 過	開始年度	昭和50年度			終了予定	
	平成28年度 ヴィラフォーレスタ森の家（介護老人保健施設） 平成29年度 エフピコダックス㈱茨城選別工場（障害者の就労工場の視察） 平成30年度 清風園（特別養護老人ホーム） 令和元年度 沓掛学荘（児童養護施設） 令和2～4年度 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ※令和2～4年度は施設見学会を中止したため、予算を減額した。 令和5年度 国立武蔵野学院（児童自立支援施設） 令和6年度 八天堂きさらづ（障害者自立支援施設）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	915	1,227	3,352
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	650	1,177	3,352
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	122	123	147
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	528	1,054	3,205
執行率（％）		－％	－％	－％	71.04％	95.93％	100％
B. 人コスト		0	0	0	851	915	
総事業費（A+B）		0	0	0	1,501	2,092	
予算書P（令和7年度）		P. 138-3		執行実績報告書P（令和6年度）		P. 80-3	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	476	使用料及び賃借料	1,013	使用料及び賃借料	2,875
需用費	157	需用費	140	需用費	351
役務費	17	役務費	17	役務費	22
		旅費	7		
概 要		概 要		概 要	
【使用料及び賃借料】研修バス借上代 【需用費】民生委員及び職員の昼食代 【役務費】民生委員への開催通知郵送料		【使用料及び賃借料】研修バス借上代及び 【需用費】民生委員及び職員の昼食代、 見学施設への土産代 【役務費】民生委員への開催通知郵送料 【旅費】職員の管外出張旅費		【使用料及び賃借料】研修バス借上代及び 【需用費】民生委員及び職員の昼食代、 見学施設への土産代 【役務費】民生委員への開催通知郵送料 【旅費】職員の管外出張旅費	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	施設見学会の開催				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1	令和7年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	0	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設見学会を実施することで、研修機会の創出に資するため。						
事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	施設見学会の参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		120	令和7年度	目標	120	120	120	120
				実績	100	122	120	104
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	120	120	120	120	120	120
		実績	0	0	0	103	91	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		委員の参加を促し、委員の見聞を深めることに資するため。 目標値は、これまでの実績から算出している。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	施設見学会は、民生委員・児童委員の見聞を深め資質向上等に有効な事業として必要性が高い。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2～4年度は中止していたが、令和5年度に再開できた。3年に1度は宿泊を伴う見学会を実施していたが、委員の出席率を高めるために、今後は日帰りで実施することとした。

課題・問題点
参加人数が多いため、見学受け入れ施設がなかなか見つからない。